

◆ 学 位	学 位 名	学士（教育学）（奈良教育大学）	学士（芸術教育）（奈良教育大学）	
	取得方法	論文 昭和 55 年取得	課程 昭和 56 年取得	
◆ 学 歴	大 学	奈良教育大学 教育学部 特設書道科 昭和 55 年 3 月卒業		
	大 学 院	奈良教育大学 教育学部 教育専攻科（書道） 昭和 56 年 3 月修了		
◆ 学 内 職 務 （令和 4 年度）	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 教職教育推進センター ▪ 教職支援委員 			
◆ 担当授業科目 （令和 4 年度）	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 教職研究 I・II ▪ 教職演習 I・II ▪ 生徒指導論 			
◆ 職務上の実績に関する事項（資格、免許、特許、等）				
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 高等学校教諭 1 級普通免許状（書道）、高等学校教諭 2 級普通免許状（書道・国語）、全国高等学校文化連盟副会長（H27～H28） ▪ 大阪府高等学校芸術文化連盟会長（H27～H28）、大阪府高等学校芸術文化連盟顧問（H29～） 				
◆ 専門研究分野		◆ キーワード		
教育学	芸術教育（書道）	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ICT の活用 ▪ アクティブ・ラーニングの視点 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 教科教育法 ▪ 教員力資質向上 	
◆ 研究概要	ICT を活用したアクティブ・ラーニングの実践と評価方法			
◆ 所属学会	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 日本ピア・サポート学会 ▪ 全国大学書道学会 ▪ 日本書芸院一科審査員 ▪ 日本アクティブ・ラーニング学会 ▪ 書学書道史学会 ▪ 大阪府高等学校芸術文化連盟顧問 			
◆ 主要著書（5 件程度）				
書名・タイトル		単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ 「人と書」		共著	平成 5 年 4 月	中教出版(株)
▪ 「名跡名言書道大字典」		共著	平成 6 年 8 月	柏美術出版(株)
▪ 高等学校芸術科教科書 「書法芸術 I・II・III」		共著	平成 9 年 2 月	中教出版(株)
◆ 主要論文（5 件程度）				
書名・タイトル		単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ 「中国山東山西に書を訪ねて」		共著	平成 5 年 3 月	中国書法文化研究会
▪ 「西嶽華山廟碑」論考		単著	平成 7 年 12 月	季刊「書道ジャーナル」40 号
▪ 「ICT を利活用した学校づくり～＜アクティブ・ラーニング＞＜カリキュラム・マネジメント＞を取り入れたチームとしての学校の在り方～		単著	平成 28 年 9 月	日本教育弘済会大阪支部 教育実践研究論文
▪ 「主体的で、対話的な深い学び」の実践 —教職教養科目「教育法規」をアクティブ・ラーニングの視点で—		単著	平成 30 年 3 月	四天王寺大学 「教育研究実践論集」第 5 号
▪ 「ICT を利活用した学修成果の可視化」—アクティブ・ラーニングの視点からの「振り返り」を学生のスマホを活用して—		単著	平成 31 年 3 月	四天王寺大学 「教育研究実践論集」第 7 号

◆ その他（５件程度）			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ 「新しい学力観に立つ『書道Ⅱ』における漢字仮名交じりの学習	単著	平成 10 年 11 月	書写書道教育を考える<日本書芸院>（発表）
▪ 「世界の文字の歴史を探る～教科とリンクした総合的な学習の時間～」	単著	平成 15 年 11 月	第 28 回全日本高等学校書道教育研究会福岡大会（発表）
▪ 「アクティブ・ラーニング先進事例～実施体制づくりから、授業の実際まで～」	単著	平成 28 年 8 月	教育開発研究所 「教職研修 9 月号」
▪ 「ICT を活用したアクティブ・ラーニングの実践と評価方法」	単著	平成 28 年 8 月	月刊「教育プロ」9 月号
▪ 「書道における ICT を活用したアクティブラーニング～実践と評価の在り方～」	単著	平成 28 年 8 月	平成 28 年度大阪府高等学校「書道」研修<大阪府教育センター>（発表）
▪ ICT を利活用した学校づくりー「アクティブ・ラーニング」「カリキュラム・マネジメント」を取り入れたチームとしての学校の在り方ー	単著	平成 29 年 2 月	大阪府教育委員会<学校経営叢書>（発表）
▪ 「府立高校初！授業でスマホ」～アクティブ・ラーニング（AL）とカリキュラム・マネジメント（CM）を取り入れた「学びの改善」学習環境構築プラン～	共著	平成 29 年 5 月	第 71 回全国高等学校長協会研究協議会<埼玉大宮ソニックシティホール>（発表）
▪ 「書道におけるアクティブ・ラーニングの視点とはー授業改善につながる<学びの実現>ー」	単著	平成 29 年 8 月	平成 29 年度大阪府高等学校「書道」研修<大阪府教育センター>（発表）
▪ 授業でスマホを取り入れた高校における「学びの改善」ー ICT を活用した「主体的・対話的な深い学び」と「カリキュラム・マネジメント」の推進ー	単著	平成 29 年 12 月	平成 29 年度日本工業教育経営研究会・近畿支部第 22 回研究大会（発表）
▪ 「主体的で、対話的な深い学び」の実践ー教職教養科目「教育法規」をアクティブ・ラーニングの視点でー	単著	平成 30 年 3 月	第 2 回日本アクティブ・ラーニング学会全国大会（発表）
▪ ICT 実践活用 「新しい学習指導要領の考え方ープログラミング教育が必修化された背景ー」	単著	平成 30 年 8 月	平成 30 年度教員免許状更新講習（発表）
▪ 書道において、授業改善につながる「評価の設定」を考える	単著	平成 30 年 8 月	平成 30 年度大阪府高等学校「書道」研修<大阪府教育センター>（発表）
▪ 未来の高校「人生 100 年時代にふさわしい新しい学び」「予測困難な時代を教育で切り開く」「AI 時代こそ「人間の学び」を」	単著	平成 30 年 11～12 月	日本教育新聞「未来の高校」連続 6 回掲載（発表）
▪ 書道の中で生かせる「めあて」と「振り返り」	単著	令和元年 7 月	令和元年度大阪府高等学校書道教育研究会「書道教員」研修（発表）
▪ ICT 実践活用 「教育の情報化の動向ープログラミング教育が必修化された背景ー」	単著	令和元年 8 月	令和元年度教員免許状更新講習（発表）
▪ 「米芾（宋の四大家）ー天真爛漫ー」について	単著	令和 3 年 3 月	藤井寺市書作家協会 2021 研究会（発表・席上揮毫）